

本日ここに、令和3年第8回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私は概要を申し上げ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

去る10月31日に執行された第49回衆議院議員総選挙において、愛媛4区からは衆議院議員を9期務められた前職の山本公一氏の後任として、新人の長谷川淳二氏が当選されました。長谷川氏は総務省出身で愛媛県副知事も務められ、県内の実情をよく把握されていることから、南予の発展に力を尽くしていただけるものと期待しています。これまでの経験と人脈を活かし、地方と国のパイプ役を大いに担っていただきたいと思っております。

さて、先月29日の臨時会後の市議会協議会にて、ご説明させていただきました、国の経済対策における子育て世帯に対する18歳以下1人当たり10万円相当の給付事業に関する補正予算につきましては、本来の12月補正予算とは別の補正予算として提案しています。子育て世帯に対する補正予算につきましては、政府が予備費も活用して、年内に5万円の現金給付を始めることを国民に示しており、対象世帯に少しでも早くお届けできるよう速やかに作業に着手する必要があることから、本日付での円滑な採決について、あらためてお願い申し上げます。

また、財政支出が55兆7千億円と過去最大規模となる経済対策のための国の補正予算案が、昨日から開会された臨時国会に提出されています。この補正予算には生活に困窮される方に対する様々な支援メニューや新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などが含まれることから、国の補正予算成立を受けた速やかな事業実施を図るため、市としてもさらなる補正予算の編成にも対応できるよう、国会審議の状況についてしっかりと注視して参ります。

デルタ株が猛威を振るった新型コロナウイルスの流行「第5波」は9月中旬以降、急速に収まりをみせ、緊急事態宣言が全面解除となり全国的にも経済活動が再開され始めました。愛媛県内においても、10月20日から県独自の新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが「感染警戒期」から「感染縮小期」へ引き下げられたことを受け、本市においても、感染防止対策をしっかりと講じたうえで、イベントを本格的に実施することとしました。

11月14日には、八幡浜みなとで「第8回やわたはま産業まつり」と「第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」を同時開催しました。前日には市内のホテルで歓迎レセプションを開催し、受賞者の皆様と大会関係者が一堂に会し交流を深めました。

当日は天候にも恵まれ、市内外からイベントを心待ちにされていた約1万2千人の方が訪れ大変賑わいました。会場では地元製品の販売をはじめ、第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会表彰式などのマーマレード関連イベント、航空アクロバットショー、歌やダンスなど多彩なステージイベントなどが催され、来場者の皆様には久しぶりに市内で開催した大規模な屋外イベントを楽しんでいただけたと思っています。

また、20日・21日には、新型コロナの影響で中止した「やわたはま国際MTBレース2021（にせんにじゅういち）」に代わり、本市で初めて第34回全日本自転車競技選手権大会マウンテンバイク・クロスカントリーの部が市民スポーツパークで開催されました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、PCR検査を義務付けた厳しいガイドラインのなかで行われたため観客の数は限られましたが、183名の国内トップクラスの選手により迫力のあるレースとなりました。

さらに、27日には、サイクリング佐田岬2021（にせんにじゅういち）、二宮敬作ウォーク2021（にせんにじゅういち）と週末イベントがたて続けに開催され、地域が活気を取り戻し始めたことを大変嬉しく思っています。

今後も市民の皆様が安心して参加いただけるよう、感染防止対策を講じ、参加者等の安全を確保したうえで、楽しんでいただけるイベントを開催していきます。

また、昨年はやむなく中止しました、私の政治姿勢の基本である「市長をかこむ会」を今年度は12月1日の江戸岡地区から開始しています。年をまたぎ来年2月末までの期間に市内18地区に伺い、2年分の市政に対するご意見・ご要望等をお聞きし、市政運営の根幹である市民主体のまちづくりの参考にしていく所存です。議員各位を始め、多くの方の参加をお待ちしています。

さて、現在、本市では新年度予算の編成作業が本格化しているところです。

令和2年度の一般会計決算では、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は6,591万7千円の黒字決算となりましたが、市税の減収や様々な新型コロナウイルス感染症対策事業を積極的に実施してきたこともあり、非常に厳しい財政運営となりました。

今後も人口減少の進行により税収の増加を見込むことが難しいなか、毎年のように発生する大規模な災害から市民の命と財産を守るための対策や、公共施設、道路・橋梁・上下水道といったインフラの老朽化対策も喫緊の課題となっています。

新型コロナウイルス感染症についても、基本的な感染防止対策とワクチン接種の促進で一定の感染抑制につながってはいるものの、国内でも新たな脅威となる「オミクロン株」が確認されるなど、「第6波」の襲来が懸念されます。このように未だ収束の兆しが見えない現状を踏まえ、令和4年度当初予算においても、安全・安心な市民生活の確保と地域経済の支援を最優先課題に位置付け、全庁体制で感染症対策関連事業の予算編成に取り組みます。

さらに、4期目として最初の当初予算は、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、八幡浜市を「明日への希望・わくわく感を持って暮らしていけるまち」にするため、地方創生に向けた取組をはじめ、DX、SDGs、Society 5.0（ソサエティ5.0）、カーボンニュートラル実現の取り組みなど、新時代のトレンドを的確に捉え、国際的な流れやデジタル化に対応した事業についても積極的に推進していきます。

次に、市立病院の医師確保についてです。本会議後の市議会協議会でご説明する予定としておりますが、来年1月から、産婦人科の医師1名が赴任することが決定しました。昨年のサテライトセンター消化器内科医師に続き、不足している診療科の医師が増員となります。このことは市民にとっても市立病院にとっても明るい話題であり、今後も継続して医師確保に取り組んでいきます。

それでは、今回提案の12月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

最初に「**新型コロナウイルス感染症対策**」についてであります。

国の経済対策における、子育て世帯に対する5万円の現金給付事業のほか、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、魚価の低迷や出荷量の減少など苦境に立たされている養殖業者の経営の安定化を支援するため、今年度も昨年度と同様、魚類養殖共済掛金の一部について補助率と上限額を引き上げて助成を行います。

また、コロナ禍で行動制限が長期化し、友達や地域とのつながりが希薄化する中、子どもたちの居場所やつながりをつくる活動を実施する神山地区、川之石地区、2つの地区公民館での取り組みに対し、愛媛県の補助事業を活用し支援します。

次に「**安全安心なまちづくり**」についてであります。

本市では、平成27年度からフェリー埠頭再整備事業を進めてきましたが、いよいよ来年3月に新フェリーターミナルが完成します。八幡浜港のシンボルとなる新しい施設の完成を祝うとともに、市民の皆様や関係機関にお披露目するため3月19日に完成記念式典を開催します。さらに、供用開始となる4月1日にはフェリーの安全な航行等を祈念し供用開始記念式典を開催します。関係者によるテープカットや地元高校生によるブラスバンドの演奏や旗振りでのお見送りなどを予定しており、そのための予算を計上

しています。

このほか、令和3年8月の秋雨前線豪雨により被害を受けた穴井地区の農地2箇所の災害復旧工事に関する予算を計上しています。

次に「暮らしやすいまちづくり」についてであります。

本市では、市の最上位計画である「第2次八幡浜市総合計画」において、「障害者の自立と社会参加」を主要課題に位置付けており、地域課題や市民ニーズに対応できるように、障害福祉行政の充実に取り組んでいます。これを受けて、障害のある方が自立した日常生活や社会生活を営むために必要な障害福祉サービスの給付負担金について、上半期のサービス利用者の増加に伴い増額しています。

また、松蔭小学校木造校舎・児童クラブ改築事業において、学校敷地の水はけの悪さや土埃による工事への影響を軽減するための予算を増額しています。

次に「産業振興の取り組み」についてであります。

市内で新たに創業・起業する方を支援することで市の産業の活性化を図るため、今年度「創業支援事業補助金」を創設しましたが、相談件数が当初予算を上回る状況となっています。そのため、今年度の申請件数に対応できるよう予算を増額しています。

次に「新時代に対応したまちづくり」についてであります。

こちら本会議後の市議会協議会でご説明する予定としておりますが、来年4月から新フェリーターミナルに機能が移転することに伴い、現在のフェリーターミナルの跡地利用を主とした、「八幡浜港みらいプロジェクト」を立ち上げ、港湾機能の充実や更なる港の賑わい創出につながるよう推進していきます。八幡浜港港湾整備懇談会等のご意見をもとに、まずは新フェリーターミナルの機能として必要な道路や駐車場を整備するための調査費等の予算を計上しています。

また、フェリー利用者や「八幡浜みなと」の来訪者の利便性向上を図るとともに、八幡浜自動車道の開通も視野に民設民営の商業施設を誘致するなど、市民がわくわくするような、四国の西の玄関口にふさわしい「みなとを核としたまちづくり」を進めます。

次に「その他の取り組み」についてであります。

ふるさと納税事業は、寄附金の大幅な増加に伴い、寄附者に対するお礼として贈呈する地元産品などの費用や事務経費を今議会で追加計上しています。9月からの伸び率を鑑みますと、今年度も昨年度を上回る見込みであるため、歳入予算を11億円から14億円に3億円増額しています。

そのほか、人件費については人事院勧告に準じた一時金の引下げ、職員の異動による

年間所要額を見通した調整を行っています。

以上が、12月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計	1億3,645万	円の追加
特別会計（6会計）	7,866万6千円	の追加
企業会計（4会計）	1億2,774万4千円	の追加
合計	3億4,286万	円の追加を、ご提案申し上げるもので す。

増額した事業の財源といたしましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を計上し、財政調整基金の繰り入れを減額し調整しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。